

(様式2)

平成 23 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 1590800015        |            |  |
| 法人名     | 社会福祉法人ほのぼの小千谷福祉会  |            |  |
| 事業所名    | グループホームほのぼの       |            |  |
| 所在地     | 新潟県小千谷市大字川井1690番地 |            |  |
| 自己評価作成日 | 2011年12月9日        | 評価結果市町村受理日 |  |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/Top.do">http://www.n-kouhyou.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                |  |  |
|-------|--------------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 社団法人新潟県社会福祉士会                  |  |  |
| 所在地   | 新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成24年1月26日                     |  |  |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本年は、特に、外に開かれたホームの活動に力を入れて来ました。散歩や外でお茶会・畑作業など、屋外での活動をたくさん取り入れることに光  
や外気にあたることでストレス解消や健康の増進、そして何より、入居者の皆様々な活動を通じて、親しく気遣いあう様子が多く見受けられるようになりました。また、登録ボランティアを募り、職員と一緒にホームにかかわりを持っていただき、  
職員の側に、気づきや働き甲斐など、新たな意欲の向上に繋がりました。  
入居者の方の年齢も高くなるにつれ、医療との連携は、欠かせなくなってきましたが、新たに往診にすぐ駆けつけていただける開業医にもホームの医療連携していただき、従来の開業医2人体制から、開業医3人体制へと安心度もアップした。  
ご近所の方や町内会の皆様とも活発に交流する機会を頂き、今年は夜間行われた町内の盆踊りにも参加することが出来、入居者の方にも大変喜んでいました。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは農村地帯にあり、周囲には田畑や山、川など自然にあふれている。窓からそれぞれの風景が眺められ、散歩や外出に適した場所である。敷地裏に畑や花壇が利用者から「畑の指導者」になってもらい、いろいろな野菜等をつくっている。近所の方々も盛んで散歩のときなど声をかけてもらったり、さまざまな野菜をいただく間柄となり、地域全体の高齢化に伴い、平成24年からは塞の神の行事をホーム敷地内で行う予定域になくてはならない事業所となっている。  
1999年に民間のデイケア、宅老所として始まり、2001年にNPO法人として現在の場家改修グループホームを始めた。2004年の中越地震では建物損壊の被害を受けたためにデイサービスセンターや地域交流室を併設した2ユニットのホームとし、現在に至る。新採用職員には採用時研修で法人の成り立ちや経緯をDVD視聴により共有して、法人が大切にしていることへの理解を深めて取り組んでもらえるよう促している。問題意識も高く、常に話し合いや意見交換をしながら業務にあたっている。職員教育に力を入れており、「教育委員会」を中心に各種研修会を企画・運営したり、グループで研究発表会を実施するなどしている。それらの成果は冊子にまとめ、関係者に配る。

より、日  
様同士が  
た。  
ことによ

きておりま  
に関わっ  
がしまし

に開催さ  
だきま

は四季そ  
あり、利用  
との交流  
ている。地  
であり、地

所で古民  
ため、新  
至ってい  
てもらふこと  
職員の問  
こも力を入  
テーマを設  
記布してい